

事業番号	16 01 10	事業改善シート(25年度実施事業分)			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	交通安全教育推進事業				担当課	部局	警察本部	
総合5か年計画	プロジェクト				課・室	交通企画課		
	施策の総合的展開	4-2 県民生活の安全確保 2 交通安全対策の推進			E-mail	police-koutsukikaku@pref.nagano.lg.jp		
					実施期間	S35 ~		

### 1 事業の概要

目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 交通事故発生件数の総量抑制を目指すとともに、悲惨な交通死亡事故を1件でも減少させ、安全で安心な長野県を目指す。</li> <li>○ 幼児から高齢者までの交通社会を構成するあらゆる階層において、対象に応じたきめ細かな交通安全教育を実施していくため、交通関係団体等と協働した活動を推進し、交通安全意識の高揚を図り、交通事故死傷者数10,000人以下を目指す。</li> </ul>		
現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 交通事故死傷者数は、平成14年以降減少傾向にあり、平成24年中は13,392人であったが、いまだ1万人を超え高止まりの状態である。</li> <li>○ 児童・高齢者・歩行者等(交通弱者)が犠牲となる交通事故の発生が増加している。</li> <li>○ 高齢者数の増加、高齢ドライバーの増加から、高齢者事故が全事故に占める割合が増加することが推測される。</li> </ul>		
県が関与する理由	県でなければ実施不可(法令等義務)	【左記の説明、根拠法令等】 道路交通法、交通安全対策基本法	
	県民との協働による実施：困難		

事業内容	① 成果目標(H25)						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ あらゆる階層に対し、発生状況に基づいた確かな交通安全教育を推進し、交通事故の総量抑制と交通事故死傷者の減少を図る。</li> <li>○ 前年比約5%の減少率を維持(H25年目標:交通事故死傷者 12,100人以下)。</li> </ul>						
	② 事業内容 (単位:千円)						
		項目	実施方法	H25事業実績		H25 (当初)	H25 (決算)
	1. 地域交通安全活動推進委員による交通安全活動支援	直接	・季別交通安全運動活動への支援 ・交通安全教育知識向上のための講習会の実施	1,366	1,101	1,368	
	2. 各対象者に応じた交通安全教育の推進	直接	・高齢者を中心とした運転適性診断の実施 ・チャレンジ号や資機材を活用した交通安全教育	2,321	2,121	17,077	
	3. 交通安全広報啓発活動の推進	負担金	・交通事故ゼロチャレンジ事業への負担金	720	720	720	
	4. 緊急雇用創出基金活用事業	委託	・交通弱者を交通事故から守るための総合安全対策	63,298	55,587	0	
	合計			67,705	59,529	19,165	

事業コスト	区分(単位:千円)		23年度	24年度	25年度	26年度
	予算額	前年度繰越				
		当初予算	102,891	66,287	67,705	19,165
		補正予算	-16,416	55,461	-7,711	
		合計(A)	86,475	121,748	59,994	19,165
	Aの財源	国庫支出金				
		県債				
		その他( )	82,718	119,316	65,326	16,738
	一般財源		3,757	2,432	-5,332	2,427
	決算額(B)		85,814	108,186	59,529	
概算人件費	職員数(人)	0.01	0.01	0.01	0.01	
	概算人件費(C)	83	83	83	83	
概算事業費(B(A)+C)		85,897	108,269	59,612	19,248	

成果目標の達成状況					
項目	H24末(実績)	H25			H26目標
		目標	成果	達成状況	
交通事故死傷者数	13,392人	12,100人以下	12,362人	未達成	11,100人以下
交通安全教育受講者数					受講者数増

目標に対する成果の状況	交通事故死傷者数は、平成14年以降減少傾向にあり、平成24年中は13,392人、平成25年中は12,362人と、数値目標の達成には至らなかったものの、減少傾向を維持しており、事業の効果が認められた。
-------------	---

### 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	今後も増加する高齢者や子供等の交通弱者を交通事故から守るため、交通弱者総合安全対策を継続して推進する必要がある。